第 20 講　終戦後の日本
PART1 日本の民主化

Chapter 1　日本の占領

目標　日本に２発も原爆が落とされた要因は何だろう？
日本の占領方式が及ぼした影響について知ろう。

1　敗戦

①〔1　　　　　　　〕**内閣**（**海軍**，1945 年）

昭和天皇の信頼が厚い元侍従長が，戦争終結を期待され組閣（東郷茂徳外相）。

1945 年　**ソ連が日ソ中立条約不延長を通告**（４月）・**ドイツが無条件降伏**（５月）

ポツダム会談（７月）→**米英中**の名で「**ポツダム宣言**」通告（**のちソも参加**）

アメリカが〔2　　　　〕**に原子爆弾投下**（**8月6日**，ウラン弾）

〔3　　　　　　〕（**8月8日**）→翌９日に満洲・朝鮮・樺太へ侵攻

※満蒙開拓団・満蒙開拓青少年義勇軍など在満日本人の悲劇，

〔4　　　　　　　〕**問題・中国残留孤児・残留婦人問題**などの発生。

アメリカが〔5　　　　〕**に原子爆弾投下**（**8月9日**，プルトニウム弾）

〔6　　　　　　　〕**受諾**（**8月 14 日**）→無条件降伏

昭和天皇による**玉音放送**（**8月 15 日**）→現在の終戦記念日

②〔7　　　　　　　〕**内閣**（**皇族**，1945 年）

原爆ドーム

敗戦直後の国民心理を考えて皇族が組閣。

「一億総懺悔」「国体護持」を唱え，

人権指令を機に占領政策と対立し総辞職した。

1945 年　**連合国軍総司令部**〔8　　　　　〕の設置

※最高司令官〔SCAP〕は〔9　　　　　　　〕元帥。

降伏文書調印（９月２日）

※東京湾内のミズーリ号上で，重光葵外相・梅津美治郎参謀総長が調印。

プレス = コード及びラジオ = コード指令

※GHQの最高司令官が発するポツダム勅令（のちポツダム政令）は，

憲法を超える拘束力を持ち，一切の批判は許されなかった。

人権指令（10 月）

※治安警察法・治安維持法・特別高等警察の廃止，政治犯の即時釈放，
天皇制に関する自由な議論の奨励など。

③〔[10] 〕**内閣**（**文官**，1945 ～ 46 年）

ワシントン体制の下で協調外交を展開し，米英にも知られた往年の元外相が組閣。

1945 年 〔[11] 〕**指令**

※憲法の自由主義化に加え，マッカーサーが口頭で指令。

①婦人の解放〔婦人参政権の付与〕 **②労働組合結成の奨励**

③教育の自由主義化 **④圧制的諸制度の撤廃〔秘密警察などの廃止〕**

⑤経済の民主化

衆議院議員選挙法改正（12 月）→ 20 歳以上の男女に選挙権

神道指令〔国家と神道の分離指令〕

1946 年 **天皇の人間宣言〔神格否定詔書〕**（1 月 1 日）

金融緊急措置令

戦後初の総選挙（4 月）

2 日本の占領方式

①〔[12] 〕〔FEC〕（1946 年，**ワシントン**に設置）

A 連合国による対日占領政策決定の最高機関→「**非軍事化**」「**民主化**」

中間指令権を持つアメリカ政府に基本方針を伝える。

B 米・英・ソ・中・仏・蘭・カナダ・オーストラリア・ニュージーランド・
インド・フィリピンの 11か国（1949 年にビルマ・パキスタンが参加）。

※米・英・ソ・中の４か国は拒否権を持つ。議長国はアメリカ。

②連合国軍総司令部〔GHQ〕（1945 年，**東京**に設置）

A 日本占領のために設けられた連合国軍の総司令部

B 日本政府に指令・勧告を発し〔[13] 〕**方式**をとる

③〔[14] 〕〔ACJ〕（1946 年，**東京**に設置）

A 日本占領に関するGHQ・SCAPの諮問機関

B 米・英・ソ・中の４か国→議長国はアメリカ

まとめ　米ソの戦後世界の主導権争いもあり，日本に２発の原爆が投下された。
アメリカ単独の間接統治方式をとったことで，日本は分断を免れた。

Chapter 2　五大改革のスタート

目標
「婦人の解放」は，現在に至るまで果たして進んだのかを考えよう。
極東国際軍事裁判の最大の問題点は何だろう。

1　婦人の解放

①衆議院議員選挙法改正（1945 年 12 月，幣原喜重郎内閣）

20 歳以上の男女に選挙権を付与（成人＝全人口の約半数）→大選挙区制

②戦後初の総選挙（1946 年 4 月，幣原喜重郎内閣）→ 39 名の女性議員が誕生

第 1 党　**日本自由党**（旧立憲政友会系）→翼賛選挙時の非推薦議員を中心に結成

第 2 党　**日本進歩党**（旧立憲民政党系）→翼賛選挙時の推薦議員を中心に結成

第 3 党　**日本社会党**（旧無産政党を統合）

その他　日本協同党や**日本共産党（合法化）**

日本自由党は，GHQの後押しにより日本進歩党の協力を得て，選挙後に追加で公職追放となった**鳩山一郎**にかわる**第一次**〔1　　　　〕**内閣**を成立させる。

③法の改正（1947 年）

旧刑法・旧民法の一部を改正。新刑法・新民法では，法的に**男女平等**となる。

2　教育の自由主義化

①教育改革指令（1945 年～）→軍国主義・超国家主義的教育の禁止

A　**教職追放**（1946 ～ 47 年）

職業軍人・軍国主義者・超国家主義者が追放される。

B　〔2　　　　〕**・日本歴史・地理の授業一時停止**

1947 年からの新学制により，社会科として再出発。

C　その他→**墨塗り教科書・青空教室**など。

②アメリカ教育使節団の来日（1946 年，幣原喜重郎内閣）

GHQの要請でニューヨーク州の教育長官らが来日，教育の民主化を勧告。

③〔3　　　　〕（**1947 年，第一次吉田茂内閣**）

教育の機会均等，男女共学の原則，**義務教育 9 年制**など。

④**学校教育法**（1947 年，第一次吉田茂内閣）→**六・三・三・四制**の新学制が発足

⑤教育勅語の失効（1948 年，芦田均内閣）

⑥教育委員会法　(1948 年，芦田均内閣)

教育委員会は当初は**公選制**であったが，のち新教育委員会法により

地方公共団体首長による**任命制**となった（1956 年，第三次鳩山一郎内閣)。

3　圧政的諸制度の撤廃

①戦犯容疑者の逮捕（1945 年，東久邇宮稔彦内閣～)

極東国際軍事裁判所が東京に設置され，のち " Ａ級戦犯 " ７名が死刑，

ソ連を除く世界各地で " Ｂ・Ｃ級戦犯 "984 名が死刑，475 人が終身刑となる。

Ａ　**Ａ級戦犯→「平和に対する罪」**に問われた戦争犯罪人

Ｂ　Ｂ級戦犯→戦時国際法を侵した非人道的行為の実行責任者

Ｃ　Ｃ級戦犯→戦時国際法を侵した非人道的行為の実行者

パル判事

②暗黒政治の排除（1945 年，幣原喜重郎内閣)

Ａ　政治犯の釈放と**治安警察法・治安維持法の廃止**

Ｂ　秘密警察である**特別高等警察〔特高〕の廃止**

※のち内務省も廃止（1947 年)。

③〔4　　　　　　　　〕**令**（1946 年，幣原喜重郎内閣）→超国家主義団体も解散

政界・官界・財界・言論界などの公職から戦争犯罪人・職業軍人・超国家主義者・

大政翼賛会有力者ら約 21 万名が職を追われる（～ 1948 年５月)。

④**極東国際軍事裁判〔東京裁判〕**（1946 ～ 48 年，第一次～第二次吉田茂内閣)

Ａ　起訴されたＡ級戦犯容疑者 28 名に対する裁判

Ｂ　25 名全員（松岡洋右ら２名は病死・大川周明は精神障害で免訴）が有罪

〔5　　　　　　　　〕や唯一の文官として〔6　　　　　　　　〕ら７名が絞首刑。

未起訴のＡ級戦犯容疑者（岸信介ら）は全員釈放。

※日本占領の円滑化を考慮し，**昭和天皇の戦争責任は追及せず。**

Ｃ　インドの**パル**判事は全員無罪を主張・オランダのレーリンク判事も私見を述べる

この裁判は原爆投下など連合国側の所業は不問とされたため

「勝者の裁き」の側面を持ち，

また旧植民地代表の意見が十分に反映されないなどの問題点を残した。

まとめ

衆議院議員における女性議員の割合は，現在に至るまで増えていない。

東京裁判では，戦勝国の非道・非法行為は一切問われていない。

第 20 講　PART 1　確認問題

1　米英などによる無条件降伏勧告であるポツダム宣言を受諾した内閣はどれか。

①　小磯国昭内閣　②　鈴木貫太郎内閣
③　東条英機内閣　④　東久邇宮稔彦内閣

2　1945 年にマッカーサーによって日本政府に示された
五大改革指令に**あてはまらないもの**はどれか。

①　戦犯容疑者の逮捕　②　経済の民主化
③　労働組合結成の奨励　④　婦人参政権の付与

3　連合国による対日占領政策決定の最高機関として
ワシントンに設置されたのはどれか。

①　統合参謀本部　②　極東委員会
③　対日理事会　④　信託統治理事会

4　連合国軍総司令部の指令・勧告に基づいて，
日本政府が政治を行う占領方式はどれか。

①　分割統治　②　直接軍政
③　委任統治　④　間接統治

5　1946 年に行われた戦後初の総選挙で第 1 党となったのはどこか。

①　日本進歩党　②　日本自由党
③　日本共産党　④　日本社会党

6 1945 年に廃止された法律や組織に**あてはまらないもの**はどれか。

① 治安警察法　② 治安維持法
③ 教育委員会法　④ 特別高等警察

7 極東国際軍事裁判において有罪となり，絞首刑が下されたのはだれか。

① 松岡洋右　② 小磯国昭
③ 東条英機　④ 大川周明

8 極東国際軍事裁判において，全員無罪を主張した判事はだれか。

① レーリンク　② マッカーサー
③ ハル　④ パル

第20講　PART 1　確認問題 解答

1 解答：②　**鈴木貫太郎**首相はポツダム宣言を受諾し，第二次世界大戦を終戦へと導いた。

2 解答：①　五大改革指令は，婦人の解放〔婦人参政権の付与〕，労働組合結成の奨励，教育の自由主義化，圧制的諸制度の撤廃〔秘密警察などの廃止〕，経済の民主化からなる。

3 解答：②　③の**対日理事会**は日本占領に関するGHQ・SCAPの諮問機関，④の信託統治理事会は国際連合の主要機関の一つ。

4 解答：④　南樺太・千島・南西諸島・小笠原諸島では，直接軍政がしかれた。

5 解答：②　日本自由党は，日本進歩党の協力を得て，選挙後に追加で公職追放となった鳩山一郎に代わる第一次**吉田茂**内閣を成立させた。

6 解答：③　教育委員会法は廃止されたのではなく，1948 年に制定された。

7 解答：③　①の松岡洋右は判決前に病死，②の小磯国昭は終身刑，④の大川周明は精神障害により免訴となった。

8 解答：④　①のレーリンクはオランダの判事。